

求めらる指導→考え・議論する道徳」へ転換（問題解決的な学習か？）

道徳の授業の課題 ▲読み物の登場人物の心情理解に偏った指導 ▲分かりきったことを言わせたり書かせたりする指導	→	考える道徳・議論する道徳へ ▲考える・・道徳について自分との関わりで多様な想いを巡らせる ▲議論する・・多様な考え方や感じ方との出会い * 答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童・生徒が自分自身の問題として捉えて向き合う授業へ
---	---	---

○道徳科の授業改善の視点

・児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか。・道徳的価値理の理解を自分自身との関わりで深めているか。

○本年度中に行っておくこと

・評価の視点（個人内評価や方法等についての共通理解）。・授業改善による道徳の授業の充実（学習指導要領解説道徳編 29.6/7）

○新しい道徳科の実践

・各地で授業改善が践されている。下記は、群馬県の中学校のワールドカフェ方式型の道徳化の例に加筆したもの。

・全国の道徳科を見て、教科書の文を追う形から、主発問を中心に課題解決を図る授業へ変わってきたことを実感している。

○ワールドカフェ方式型の道徳（例）

過程	学習リーダー（司会）・教師	児童・生徒	●先生 ☆留意点
の提示 資料（問題）	■「先生、今日の資料（問題）をお願いします。」		●資料や問題文を黒板に書く。
問いをもつ・問いの共有	■学習リーダーは、資料（問題）の確認をする。 ・「それでは、一人で資料（問題）を読みましょう。」※リーダーが読む場合もある ・「この問題で、気付いたことは、・・・で、いいですか？」 ・「考えられることは、・・・でいいですか？」 ・「調べてみたいことは、・・・でいいですか？」	■資料を読む。 ■資料を読んだ人から、㊟ “気付いたこと”、㊤ “考えられること”、㊢ “調べてみたいことをノートに書く。 ■また、この資料からどんな問題提議をしているか、その予想や見通しを考える。 ■どのように考えるか自分の考えを発表する。	●わかっていること、きかれていること、今日の学習のねらいにせまっているかなど、留意する。 ●今日の課題や課題解決に迫っていけるよう視覚的な板書をする。 ☆タイムマネジメントに留意
課題の設定	■「今日の課題は、どうしますか？」 ■「課題を書いた人から○回読んだら座りましょう。」 ●アウトプット ■「グーパー確認をします。」 グー：困っている パー：自力解決に行けそう ※パーの人は、隣や班の困っている人にヒントを出しに行きましょう。 ■今日の「シラバス」は、・・・です。 ■今日の「言語わざ」は、・・・です。 ■先生は、まとめの一行目を書いてください。	■課題を考え、決まった課題をノートに書き、青鉛筆で囲む。 ■課題を読む。 ■まとめの一行目を書く。	●子供の意見から、課題を設定させ板書 ●グーがあまりにも多い場合は、再度の全体確認をリーダーに促す。 ●グーの児童・生徒を把握し、支援の方策を（友達支援、教師支援等・ヒントカード等）判断する。 ●シラバス、言語わざの提示 ●まとめの一行目を書く。

自力解決	■「1人学びを始めましょう。○分です。」 「(タイマーを止めて) 考えが書けていない人は、書けている人に聞きに行ってください。 ●教え合い 「書き終えた人は一人ぶつぶつタイムをし、困っている人に教えに行きましょう。」 ●アウトプット (■付箋紙3枚に自分の考えを書きましょう。) ●記述	■ノートに自分の考えを書く。 (■付箋紙3枚に自分の考えを書く。)	●聞きに行きやすいように声を掛ける。 (●ノートに自分の考えを書かず、付箋紙に直接書く場合がある。)
集団解決	■「ワールドカフェ方式で班学びをしましょう。」 ■「違う班に行きます。テーブルホストを一人決め、それ以外の人は、違う班に行ってください。集まった人で議論をしてください。」 ■「元の班に戻り、再度、話し合います。」 ■「班の考えを短冊に記入しましょう。なお、一つの考えにまとめないようにしましょう。」 ■「では、今日の学習のまとめを自分で書いて、ぶつぶつタイムです。」 ●アウトプット ■「先生お願いします。」	■「よろしくお願いします。」 ■1番：司会、右回りで進める ■必ず挨拶をしてスタートし、端的に説明する。 ・学習班(4人)で、付箋紙に書いた内容を発表しながら、考えを共有しよう。 ●教え合い ・付箋紙は、同じところ、似ている所、少し似ているが違う所があるところなど工夫して模造紙(画用紙)に貼りましょう。 ・さらに自分の考えを付箋の横に青ペンで書き込みましょう。(自分の意見を残す) ●記述 ・新しく集まったメンバーで議論をしましょう。 ・最初にテーブルホストが、最初に議論したことを説明を簡単にしましょう。全員が発表するようにしましょう。 ・書かれている付箋紙の意見や考えがみんなにできますか。根拠や理由をもとに話し合いましょう。 ●教え合い ・自分の意見を言ったら、自分の緑ペンで書いていきましょう。 ●記述 ・違う班や、模造紙(画用紙)に書かれていることをもとに、もう一度、班で考えを深めましょう。 ・自分の意見を言ったら、自分の赤ペンで書いていきましょう。 ●記述 ■リーダーの指示内容によって、考えたことを発表する。	●模造紙・画用紙・短冊・ホワイトボード等を準備する。 ●A：各班つなぎ発表 B：黒板掲示→眺めて気づいた点等(同じ、似ている、相違点など)発表 ・状況に応じて、リーダーがA、B判断できるように事前に確認しておく。 ■必要に応じて、修正等を行う。
(まとめ) 価値の共有	■「では、今日の振り返りを自分で書いて、ぶつぶつタイムです。」 ●アウトプット	■自分の言葉で○字でまとめる。 ●記述	■児童・生徒の言葉を紹介する
振り返り	■「では、今日の振り返りを自分で書いて、ぶつぶつタイムです。」 ●アウトプット	■わかったこと、友達の説明を聞いて考えたこと等を○字で書く。 ●記述	

